

平成30年度

適性検査Ⅲ

注 意

- 1 問題は 1 から 3 までで、6 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄^{らん}3か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

ある授業で先生が情報の扱い方^{あつか}について説明しています。
以下の会話を読んで、問いに答えなさい。

先生：今日は、表やグラフなどの情報を適切に読み取り、それをわかりやすく表現できるようにするための学習をします。

この資料を見てください。資料1はテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット、などのメディアで「いち早く世の中のできごとや動きを知る」ためと、「信頼できる情報を得る」ために最も利用するメディアは何かを様々な年代の人に聞いた中から、20代と60代の結果をぬき出したものです。

太郎くん：なるほど。この資料からいろいろなことがわかりますね。

先生：そうですね。まずは情報を適切に読み取る練習として、資料1からわかることをいくつか書いてもらいます。

ところで、みなさんは、インターネットの情報をすべて信用していますか。

花子さん：インターネットと言ってもいろいろな情報があります。

先生：そうですね。例えば、^{※1}ニュースサイトや、個人でも情報発信できる^{※2}ソーシャルメディア、^{※3}動画配信・動画共有サイトや^{※4}ブログなど様々なものがあります。資料2を見てください。これは、インターネットを「ニュースサイト」、「ソーシャルメディア」、「動画配信・動画共有サイト」、「ブログ等その他のサイト」の各情報源^{かくじょうほうげん}に分け、それぞれ「非常に信頼できる」、「ある程度信頼できる」と回答した人の割合を信頼度^{わりあい}として表したものです。

では、先ほどの資料1からわかることに加え、資料2からわかることとどうして資料2のような結果になったのかについて自分なりの意見を書いてみましょう。

- ※1 ニュースサイト ……新聞社などが配信したニュースなどを見ることができるインターネット上の場所。
- ※2 ソーシャルメディア ……インターネット上で相互^{そうご}のやりとりが出来る^{そうほうこう}双方向のメディア。お互いのメッセージを受け取ったり、発信したりすることができる。
- ※3 動画配信・動画共有サイト ……個人などが撮影^{さつえい}したり編集したりした動画をみることができるインターネット上の場所。
- ※4 ブログ ……インターネット上での日記のようなもの。

資料1 最も利用するメディア

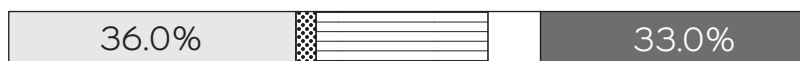
「いち早く世の中のできごとや動きを知る」(20代)



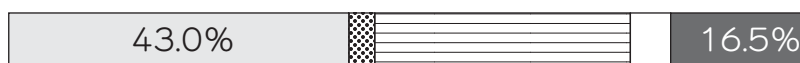
「いち早く世の中のできごとや動きを知る」(60代)



「信頼できる情報を得る」(20代)



「信頼できる情報を得る」(60代)



テレビ
 ラジオ
 新聞
 雑誌・その他
 インターネット

※総務省「平成28年版情報通信白書」をもとに作成

資料2 インターネット系メディアの信頼度

メディア	ニュースサイト	ソーシャル メディア	動画配信・ 動画共有サイト	ブログ等の その他のサイト
信頼度	45.7%	11.0%	11.1%	8.0%

※総務省「平成28年版情報通信白書」をもとに作成

問 太郎くんは先生の指示に従い、自分の意見を^{したが}まとめようとしています。あなたが太郎くんなら、どのようにまとめますか。以下の指示に従って、書きなさい。

- 条件1 : 解答は横書きで1マス目から書くこと。
- 条件2 : 文章の分量は、230字以内とすること。
- 条件3 : 数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

花子さんと太郎くんは熱中症^{ねっちゅうしょう}について、話をしています。
以下の会話を読んで、問いに答えなさい。

花子さん： 太郎くん、この資料1を見て。7月6日と7月9日では最高気温は同じなのに、7月9日は暑さ指数^{げんじゆけいかい}ランクが^{※ねっちゅうしょうほんそうすう}嚴重警戒で、熱中症搬送数も94人と多いの。どうしてだかわかる？

太郎くん： 暑さ指数に違いがあるからだよね。暑さ指数は、単位は気温と同じ℃で表すけど、気温とはちがって、熱中症の予防に役立てようと提案された値^{あた}だと聞いたことがあるけど。

花子さん： そうね。暑さ指数は、普通の気温を示す乾球温度^{かんきゅうおんど}、地面や建物などから出る輻射熱^{ふくしゃねつ}の影響を示す黒球温度^{こくきゅうおんど}、湿度の影響を示す湿球温度^{しつきゅうおんど}から算出される値なの。それぞれの温度を専用の温度計で測定し、 $0.1 \times (\text{乾球温度}) + 0.2 \times (\text{黒球温度}) + 0.7 \times (\text{湿球温度})$ で暑さ指数を求めることができるの。

太郎くん： 湿度が高いと汗をかいてもその汗が蒸発しづらく、なかなか体温がさがらないから、湿球温度^{わりあい}の割合を高くしてあるんだね。

花子さん： そのとおり。資料2を見て。これは、計算された暑さ指数によって注意することの目安などが書いてあるの。暑さ指数がわかれば、私たちが日常生活で気をつけなければいけないこと^{じょうはつ}の目安がわかるのよ。

この資料3を見て。太郎くんは、この表で空欄^{くうらん}になっている暑さ指数と暑さ指数ランクにどんな数値や語句が入り、なぜ、8月15日と8月17日の暑さ指数に差が出たかを説明できる？それと、資料4はある年の東京23区で測定されたその日で一番高い暑さ指数と人口100万人当たり1日に何人が熱中症患者^{ねっちゅうしょうかんじゃ}になったのかという熱中症患者発生率の関係を表したグラフなの。このグラフからどんなことがわかるかしら。

※熱中症搬送数・・・熱中症により救急車で病院に運ばれた人数

資料1

	7月6日	7月9日
最高気温	32.5℃	32.5℃
最小湿度	41%	56%
暑さ指数	26.9℃	29.9℃
暑さ指数ランク	警戒	嚴重警戒
熱中症搬送数	50人	94人

※環境省「熱中症予防情報サイト」をもとに作成

資料2 日常生活における熱中症予防指針

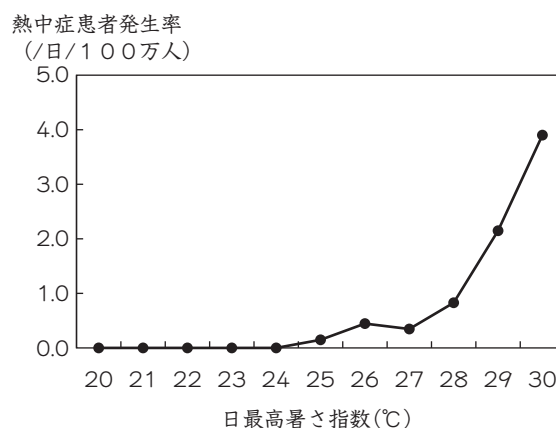
暑さ指数ランク (暑さ指数)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で起こる危険性	高齢者においては安静状態でも熱中症が発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28℃～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃～28℃)	庭の草むしりや、階段のぼりおりなど中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	バスケットボールやマラソンなど強い生活活動で起こる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には熱中症が発生する危険がある。

※ (28～31℃) 及び (25～28℃) については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満とします
 ※日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3 確定版」をもとに作成

資料3

	8月15日	8月17日
乾球温度	29℃	31℃
黒球温度	33℃	33℃
湿球温度	27℃	25℃
暑さ指数	()	27.2℃
暑さ指数ランク	()	警戒

資料4 ある年の東京23区の日最高暑さ指数と熱中症患者発生率



※環境省「熱中症予防情報サイト」をもとに作成

問 太郎くんは、計算の過程も含め資料3の空欄に入る数値と語句を述べ、8月15日と8月17日の暑さ指数に差がでた理由を述べようとしています。合わせて、資料4からわかることも述べようとしています。あなたが太郎くんなら、どのように述べますか。以下の条件に従って書きなさい。

- 条件1 : 解答は横書きで1マス目から書くこと。
- 条件2 : 文章の分量は、230字以内とすること。
- 条件3 : 数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

花子さんは、総合的な学習の時間で、人工^{※1}知能やロボットについて調べています。
以下の会話を読んで、問いに答えなさい。

先生： 花子さんは、ロボットについて調べていましたね。

花子さん： はい。今後、ロボットやAI^{エイアイ}と呼ばれる人工知能をもった機械が身近になるのではと
思って、調べ始めました。

ある資料によると、日本の労働人口の約49%が、技術的には人工知能やロボット等
により代替^{※2}できるようになる可能性が高いとされています。

先生： なるほど。必ずしも特別の知識・技術が求められない仕事や、データの分析^{ぶんせき}、決まっ
た操作^{そうさ}が求められる仕事などは、人の代わりに人工知能やロボット等が作業することが
できるようになりそうですね。

花子さん： そうですね。資料1を見てください。これは、ある会社が行った調査で、人工知能や
ロボット等による代替可能性^{だいたいかのうせい}が低い100種の職業から、10の職業を私がぬき出した
ものです。今後、ますます人工知能等の開発が続き、人の代わりに働くロボット等が増
えると思います。そのような中、人工知能やロボット等で人間の代わりにすることがむ
ずかしい職業はどんなものがあるのかをまとめました。

先生： 面白い資料をつくりましたね。こちらの資料2はどのような資料ですか。

花子さん： これは、生産年齢人口と呼ばれる15歳から64歳までの人口が今後どのようになっ
ていくかを表したものです。日本では、人口に対して高齢者の割合が増えると予想され
ている一方、この資料2からは、将来社会^{しょうらい}で中心となって働くことができる年齢の人
たち、つまり、働き手が減少することが予測されます。

先生： 具体的にはこれらの資料を用いて、どのような発表をする予定ですか。

花子さん： はい。まず、この資料1から、2つの職業を選び、どうしてそれらの職業は人工知能
やロボット等が人の代わりに仕事をすることがむずかしいのかをそれぞれ具体的に述べ
ようと思います。その一方、将来の働き手が不足する対策として、職業によっては、人
工知能やロボット等の活用が必要になると思います。その際、人工知能やロボット等の
活用は、どんな点に優^{すぐ}れ、どんな点に問題が発生するかを考え、望ましい将来の社会の
在り方についての考えを発表したいと思います。

先生： すばらしいですね。では、がんばってください。

※1 人工知能・・・学習、推論、判断といった人間の知能を持つ機能を備えたコンピュータシステム

※2 代替・・・かわり

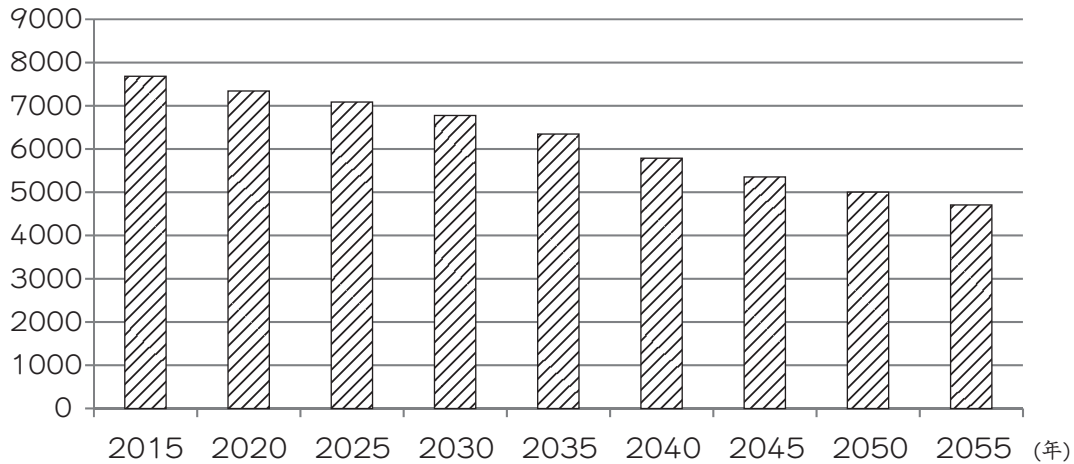
資料1 代替可能性の低い職業

小学校教員	獣医師	映画監督	保育士	レストラン支配人	スポーツインストラクター	作曲家	外科医	評論家	アナウンサー
-------	-----	------	-----	----------	--------------	-----	-----	-----	--------

※野村総合研究所「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」(2015年12月2日)を
もとに作成

資料2 15歳から64歳までの人口の推移予測

(単位:万人)



※総務省「平成28年版情報通信白書」をもとに作成

問 あなたが花子さんならどのように発表をしますか。以下の指示に従って発表原稿を書きなさい。

- 条件1 : 解答は横書きで1マス目から書くこと。
- 条件2 : 文章の分量は、330字以内とすること。
- 条件3 : 数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例)

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

これで、問題は終わりです。

